

ポストコロナ時代をめざして導入が進む Cloud Campusによるデジタルラーニング・エコシステム

2020年 6月9日

川原 洋

(株) サイバー大学 代表取締役 学長

A SoftBank Group Company



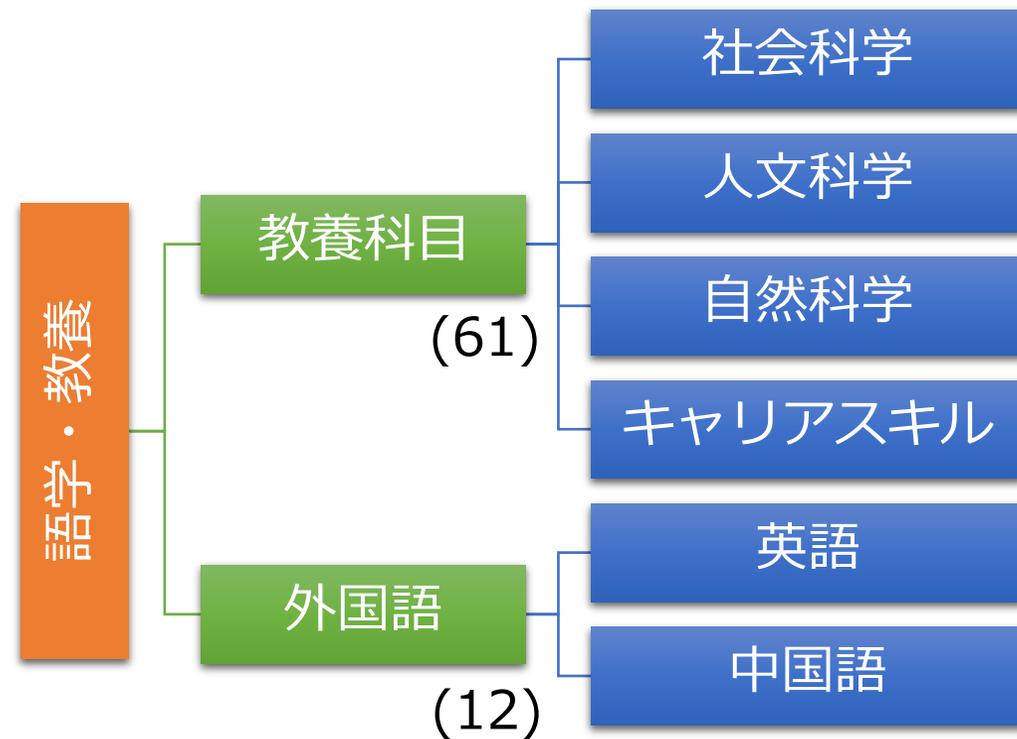
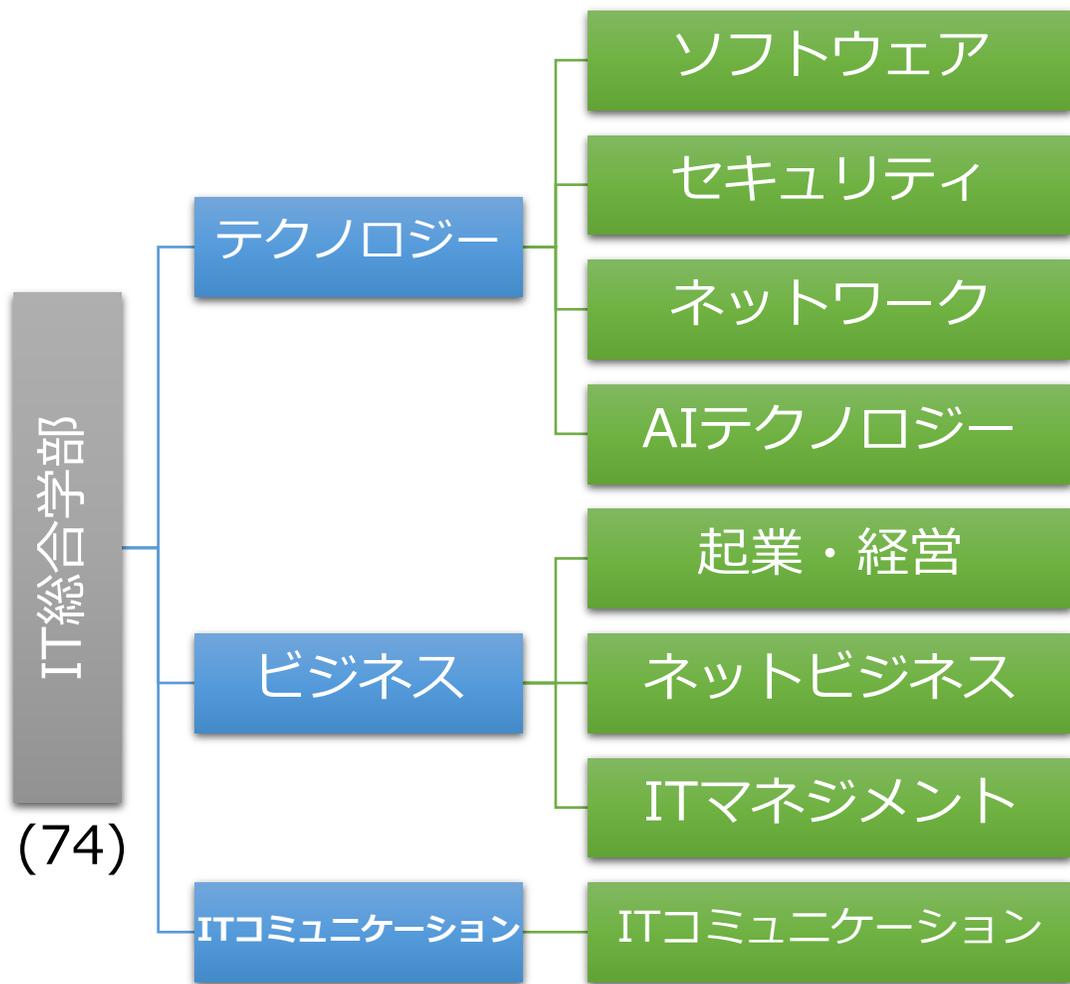
サイバー大学とは

- 2007年4月 開校
 - SoftBank Group 100%出資による株式会社立大学
 - 日本初の100%オンデマンド型遠隔授業による4年制大学
 - 双方向コミュニケーションによる高度メディア教育
- 教育方針 高度IT人材の育成
 - ビジネスのわかるITエンジニア
 - ITのわかるビジネスパーソン



本校キャンパス 福岡市東区アイランドシティ

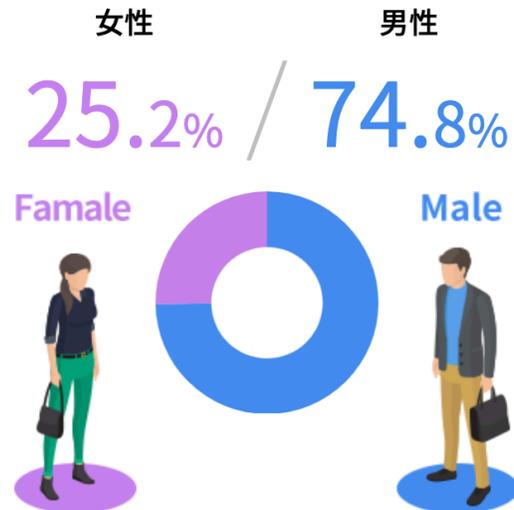
IT総合学科 コース/プログラム



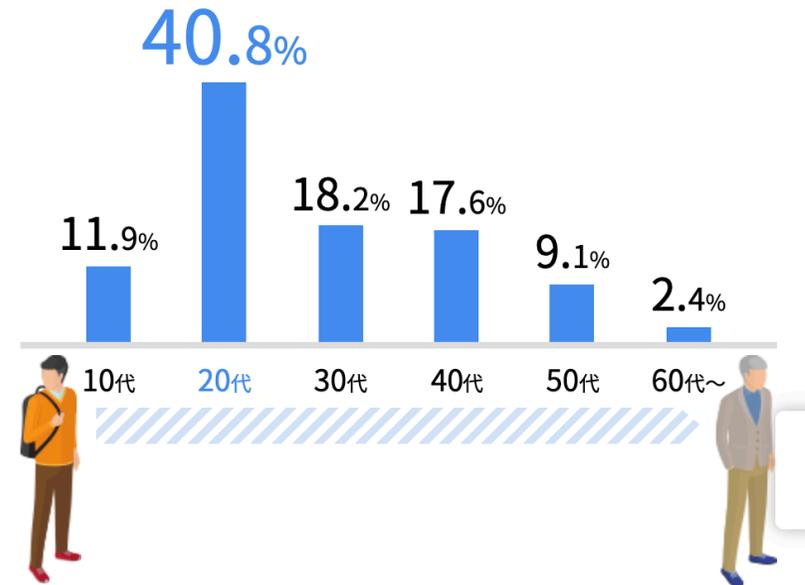
(2020年度春学期科目数)

学生データ

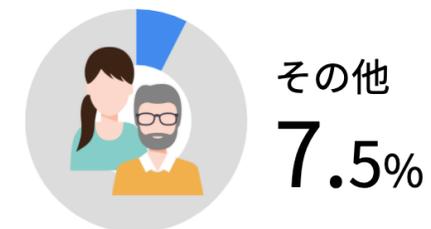
男女比



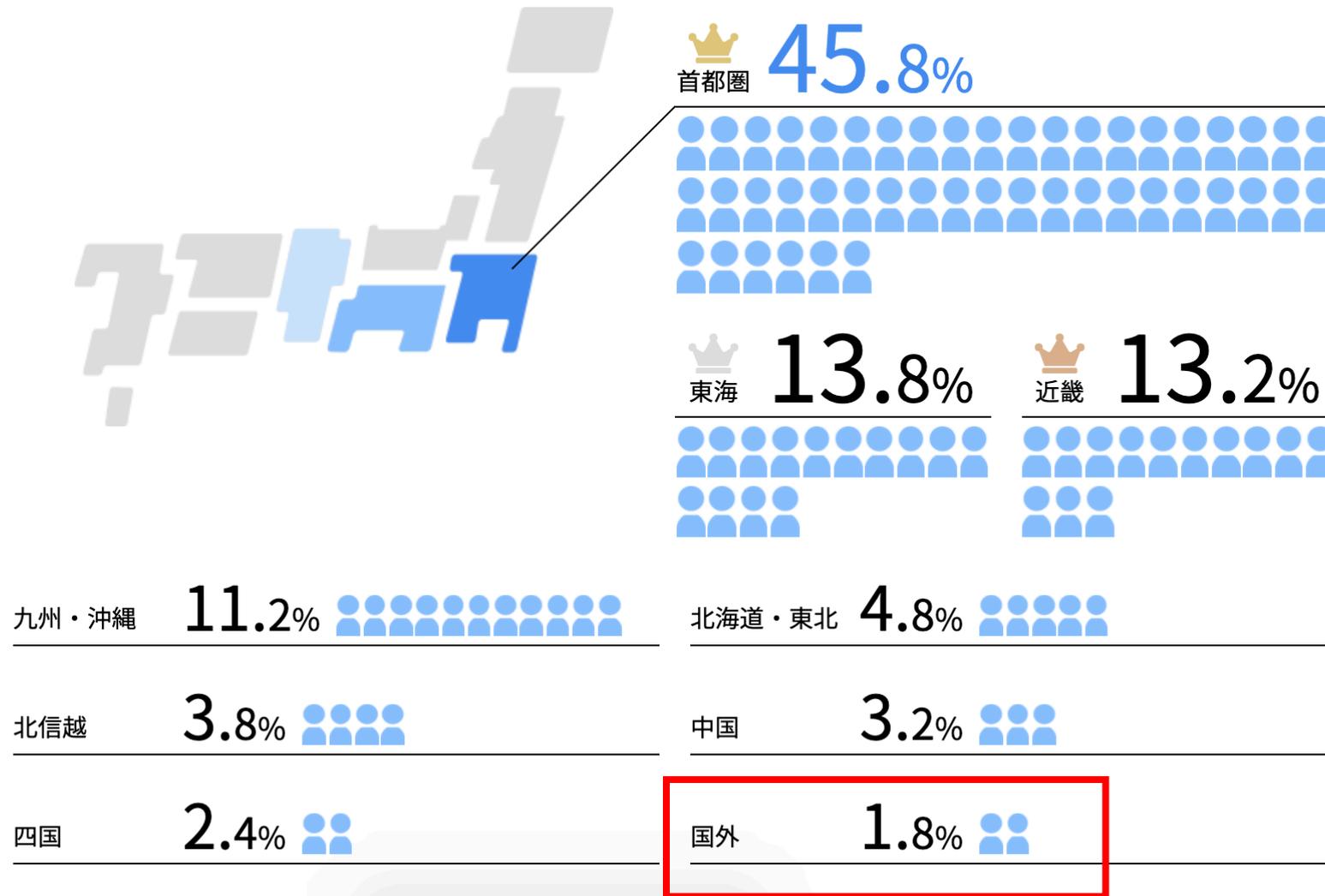
年代



職業別



地域別



Cloud Campus とは



POINT1
直感的な操作

誰でも**簡単**にコンテンツが制作できる

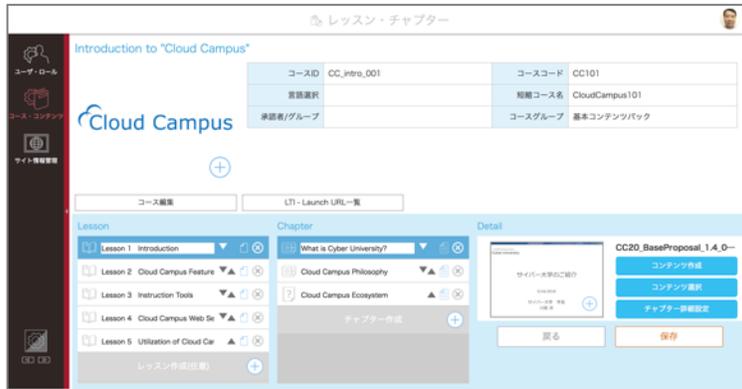
POINT2
受け身にさせない

受講者が**自己管理**できるインターフェース

POINT3
フォローや質問に対応

柔軟に使える**双方向**コミュニケーション

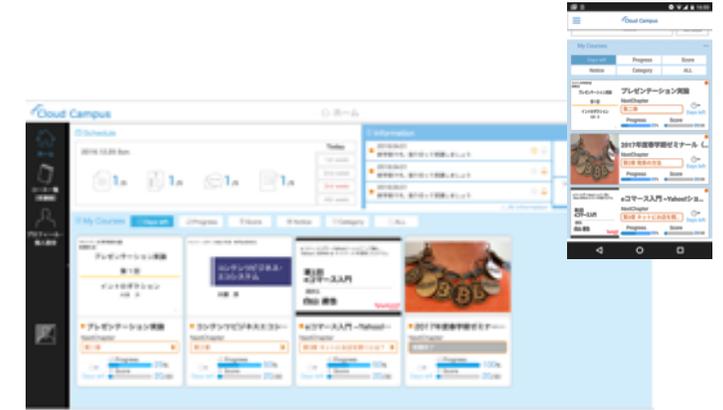
ワンストップで科目設定から学生指導まで



科目設定



コンテンツの制作



学生の端末への配信

教員が自撮りで授業コンテンツを制作し配信できる



PCのWebカメラとマイクで
講義ビデオを制作



科目・授業回・章を指定すると、
学生は直ちに受講可能

***SDビデオ品質によるデータ通信トラフィックのスリム化（15分：約30MB）**

受講者ポータルと学習進捗の自主管理ツール

To-Doリスト

Cloud Campus

ホーム

Schedule

2016.12.25 Sun

Today

1st week

2nd week

3rd week

4th week

Information

2016.04.01

新学期です。張り切って受講しましょう

2016.04.01

新学期です。張り切って受講しましょう

2016.04.01

新学期です。張り切って受講しましょう

New Information

20

Important

5

Remind

1

My Courses

Days left

Progress

Score

Notice

Category

ALL

サイバー大学 学部共通 教養科目

プレゼンテーション実論

第1回

イントロダクション

川原 洋

サイバー大学 日越会学部 専門応用科目

コンテンツビジネス・エコシステム

川原 洋

eコマース入門 -Yahoo!ショッピング編-

第1回

eコマース入門

講師名

白山 達也

サイバー大学 日越会学部 専門応用科目

2017年度春学期ゼミナー...

川原 洋

Progress 25%

Days left 20/30

Score 20/30

Progress 50%

Days left 20/30

Score 20/30

Progress 50%

Days left 20/30

Score 20/30

Progress 100%

Days left 20/30

Score 20/30

評価

学習進捗

締切

Cloud Campus

コース詳細 (受講側)

コンテンツビジネス・エコシステム

川原 洋

50% Progress

75/100 Score

5 Days Left

Notice

2016.04.01

新学期です。張り切って受講しましょう

2016.04.01

新学期です。張り切って受講しましょう

2016.04.01

新学期です。張り切って受講しましょう

コース編集

Q&A

第三章

Lesson

Chapter

Detail

再生時間 00:16:58

受講状況 未受講

受講開始

チャプタ詳細

履修中の全科目の進捗と評価を一覧

双方向コミュニケーションツール

Q&Aやフォーラムに柔軟に活用



本人確認と単位認定

<顔監視実施が設定されたチャプター受講の流れ>



クリック

顔認証
実施



認証成功



テスト終了まで
一定間隔で顔認証を実施

※認証が成功するまで、受講画面が表示されない

複数教員による専門科目の共同制作とチームティーチング

< インターネット入門



Lesson

第1回 インTRODクシヨN	4/2 ~ 4/23
第2回 インターネット以前の通信	4/2 ~ 5/8
第3回 インターネットの誕生	4/2 ~ 5/14
第4回 ウェブの誕生	4/2 ~ 5/21
第5回 インターネットのグローバル化と商売	4/2 ~ 5/28
第6回 メールサービスの仕組み	4/2 ~ 6/4
第7回 検索サービスの仕組みと活用方法	4/2 ~ 6/11
第8回 eコマースの仕組み	4/2 ~ 6/18
第9回 ソーシャルメディア	4/2 ~ 6/25
第10回 クラウドコンピューティング・サー	4/2 ~ 7/2
第11回 自宅のネットワーク環境	4/2 ~ 7/9
第12回 コンピュータネットワークの仕組み	4/2 ~ 7/16
第13回 通信の決まり事 (プロトコル)	4/2 ~ 7/22
第14回 インターネットのセキュリティ	4/2 ~ 7/30
第15回 インターネット技術に関するその他	4/2 ~ 8/6
期末試験 (WEBテスト形式)	4/2 ~ 8/13



教員

With Corona時の遠隔授業活用の検討状況

令和2年5月12日(火)20時時点

	遠隔授業を実施する	検討中	実施予定はない
国立大学	71校 (82.6%)	15校 (17.4%)	0校
公立大学	58校 (55.2%)	43校 (41.0%)	0校
私立大学	536校 (65.2%)	254校 (30.9%)	12校 (1.5%)
高等専門学校	43校 (75.4%)	14校 (24.6%)	0校
(全体)	708校 (66.2%)	326校 (30.5%)	12校 (1.1%)

全国1,070校中1,046校 (97.8%) から回答, 全国の学校数が母数のため合計値は100%にならない

文部科学省「新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について (令和2年5月12日時点)」

大学設置基準の中の遠隔授業



第25条第2項

大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第32条第5項

第一項の規定により卒業の要件として修得すべき百二十四単位のうち、第二十五条第二項の授業の方法により修得する単位数は六十単位を超えないものとする。

特例措置で行われる遠隔授業



メディア授業（60単位を超えても良い）

授業の全部又は一部を面接授業により予定どおり実施することが困難と認められる場合には、特例措置として、面接授業に相当すると大学において認められるものについては、大学設置基準第25条第1項に規定する授業の方法を弾力的に取り扱って差し支えありません。

文部科学省「学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ&A等の送付について（4月21日時点）」より

学則変更なしで遠隔授業を60単位を超えて実施可能

特例措置による遠隔授業実施の留意点

面接授業に相当すると大学において認められるものとは？

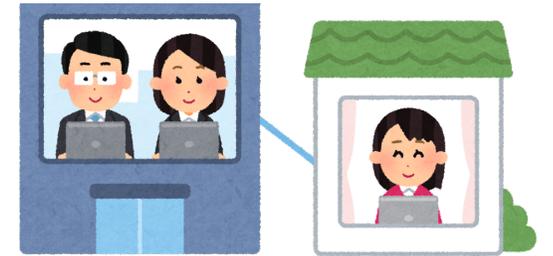
- 授業担当教員の各授業ごとの指導計画(シラバス等)の下に実施されていること
- 授業担当教員が、オンライン上での出席管理や、確認的な課題の提出などにより、当該授業の実施状況を十分把握していること
- 学生一人一人へ確実に情報を伝達する手段や、学生からの相談に速やかに応じる体制が確保されていること
- 大学等として、どの授業科目が遠隔授業等で実施されているかなど、個々の授業の実施状況について把握していること

文部科学省「遠隔授業等の実施に係る留意点及び実習等の授業の弾力的な取扱い等について（5月1日）」より

オンラインでの遠隔授業の2つの類型

ライブ配信

- 教室で行う授業をそのままライブ中継
- 学生とは映像・音声でやりとりして質疑応答
- 出席管理や課題の提出は別途工夫が必要



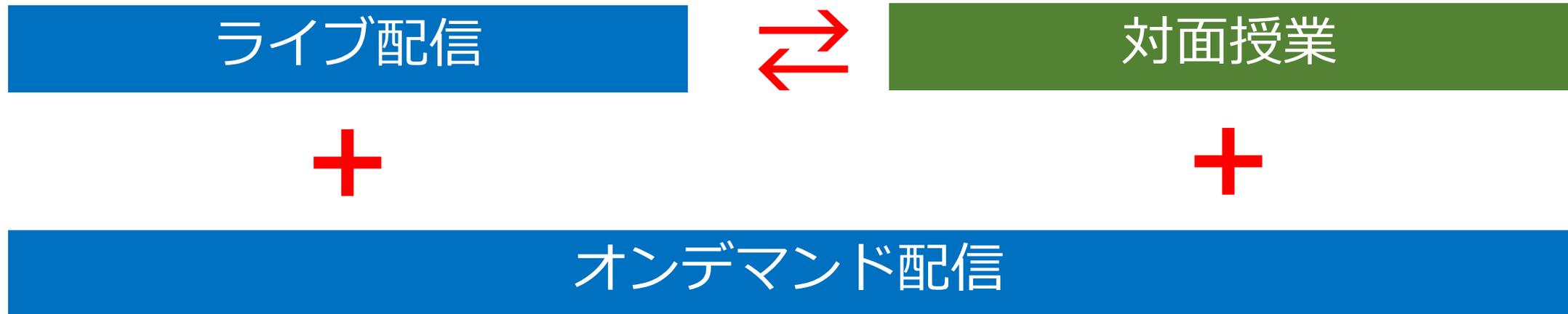
オンデマンド配信

- 講義内容や課題は教員が事前に作成
- 学生は好きな時に受講でき，繰り返し学習も可能
- 出席や課題の提出，質疑応答はシステムで一元管理



ポストコロナ時代のブレンデッド・ラーニング

- コロナ時代に培ったオンライン教育の資産を維持・拡張
- オンデマンドと対面授業の**ブレンデッド型**が最大の教育効果
- 対面授業はいつでもライブ配信と差し替え可能に



授業構成とコンテンツ制作ツールメニュー

授業 (Lesson) = 章 (Chapter) x n

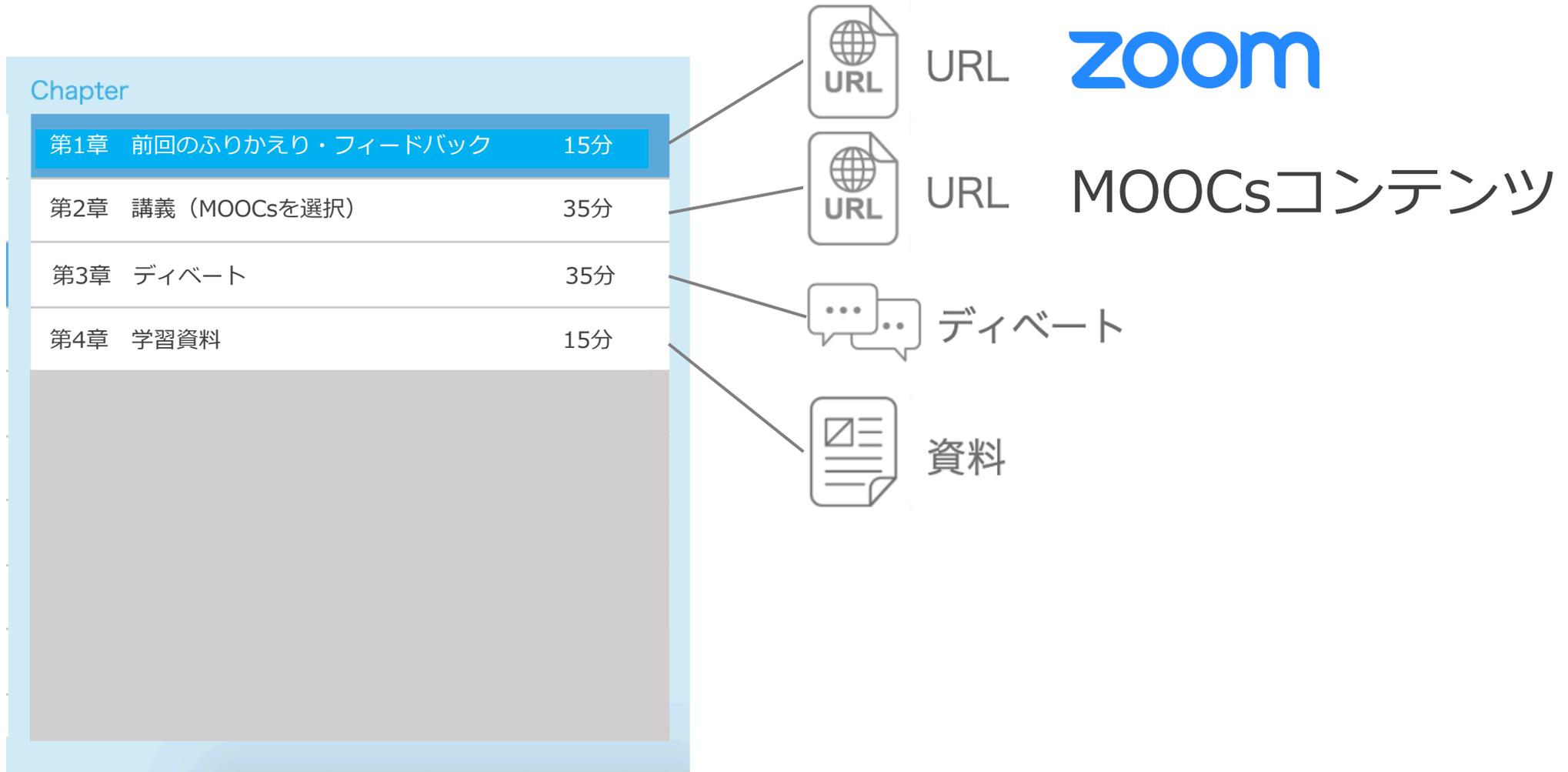
章 = コンテンツタイプ

専門基礎科目「サービステクノロジー論」(講義)

Lesson	Chapter
第1回 オリエンテーション 4/2 ~ 4/23	第1章 サービステクノロジーとは
第2回 データのデジタル化 4/2 ~ 5/8	第2章 主なテクノロジー
第3回 データ圧縮の原理 4/2 ~ 5/14	第3章 サービスモデルの変遷
第4回 マルチメディアデータの圧縮 4/2 ~ 5/21	第4章 全体構成と学習の進め方
第5回 デジタル技術の標準化と適用分野 4/2 ~ 5/28	第1回 小テスト
第6回 インターネットの進化と浸透 4/2 ~ 6/4	第1回 学習用資料
第7回 仮想化技術とユーティリティ・コンヒ 4/2 ~ 6/11	第1回 Q&A
第8回 モバイル通信と端末機能の進化 4/2 ~ 6/18	任意ディベート
第9回 インターネット・エコシステム 4/2 ~ 6/25	



外部教材主体型の例



オンライン反転授業

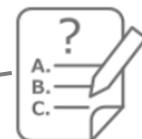
Chapter	
第1章 講義 (ビデオ)	15分
第2章 講義 (ビデオ)	15分
第3章 小テスト	15分
第4章 振り返り・補足説明	15分
第5章 グループワーク (ブレイクアウト)	15分
第6章 まとめ・フィードバック・次回説明	15分



ビデオ+スライド



ビデオ+スライド



テスト



URL

zoom



URL

zoom



URL

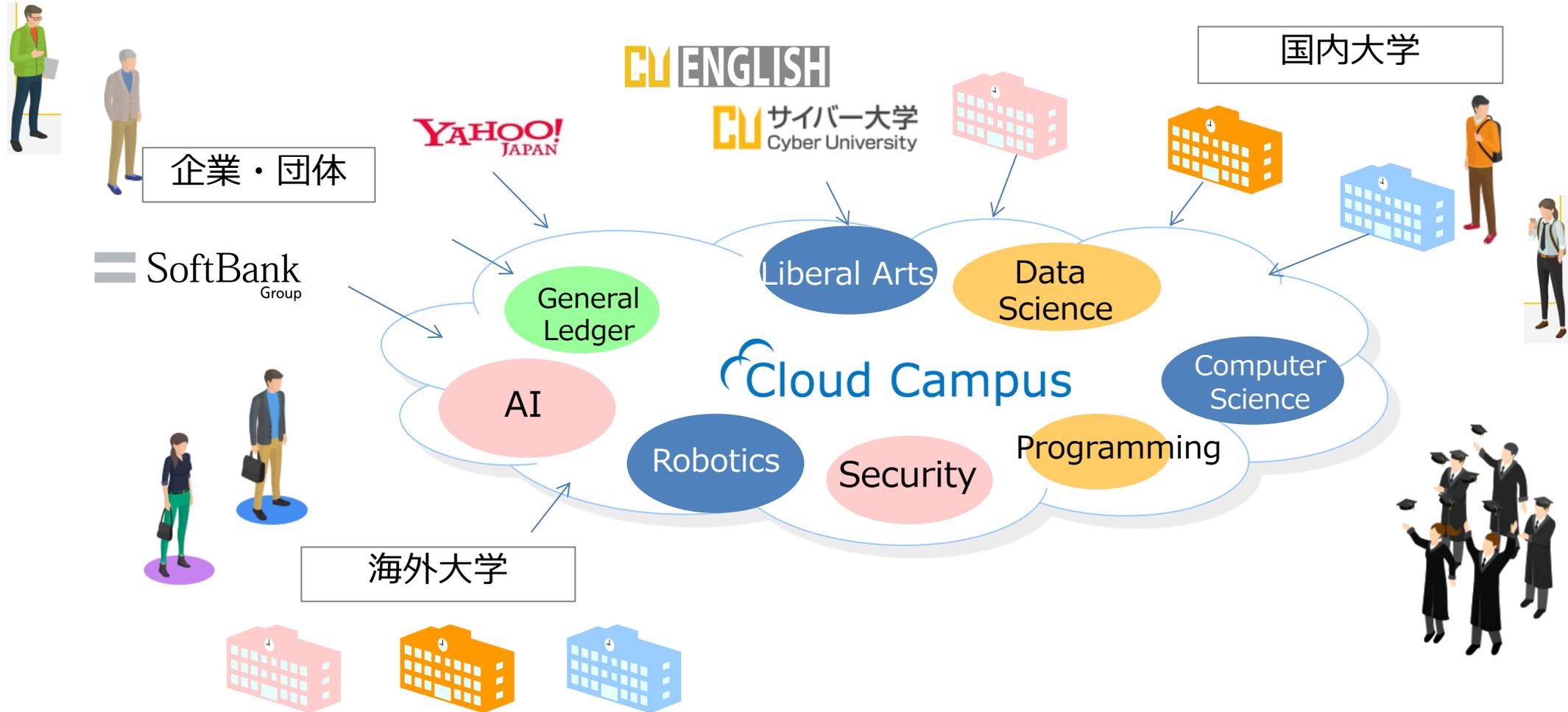
zoom

Cloud Campus : デジタルラーニング・エコシステム

- ✓ 企業・団体からの**実務家教員の派遣**
- ✓ **学外教育コンテンツの活用**による正規授業
- ✓ 単位互換を前提とする大学間の**オンライン科目／コンテンツの共有**
 - 大学教員と企業実務者による**科目の共同開発**（進行中）
 - 複数大学による**科目の合同運営**（教員・TA・リソースの共有）（計画中）

産学学間による仮想化大学の実現

国内外の大学・企業の枠を越えたオンライン教育の共有



まとめ

- 従来の大学設置基準では60単位までの遠隔授業は可能なため、授業のオンライン化は定着。
- 学生の学習進捗の見える化してモチベーションを維持。
- 教員による自主コンテンツ制作がオンライン教育の質の向上とオンライン教育の経済的持続性を可能にする。
- 仮想化大学構想は企業・大学間を超えた学習機会を創出。



新型コロナウイルス感染症の影響により授業の実施が困難な全国の大学・短期大学に「Cloud Campus」を1年間無償提供



サイバー大学特別支援

申込期間	2020年4月7日（火）正午から2020年 6月30日（火）17時まで
提供期間	利用開始日から 2021年3月末まで

A SoftBank Group Company

